

第 47 回日本膵切研究会

アンケート調査「Q & A」

Q1. 対象症例は？

A1. 出血原が明らかなもの、かつ、ISGPS grade B,C (活動性の出血により処置、輸血を行なったもの)

* ISGPS grade Bには輸液のみの対処も含まれますが、判断が困難ですので除外とします

<例>

1. 膵液瘻なし。胃の大弯の小血管から出血があり、IVRで止血した
→IVRを行なっており含まれます

2. PD術後、術直後よりドレーンが血性だった。自然に止血した
→明らかな出血原なく、輸血などがなければ除外

3. 膵液瘻なし。ずっと膵周囲に液貯留があったが、術後経過は問題なく、放置していた。退院直前、熱が出たのでそれを試験穿刺してみたら、血腫だった。
→明らかな出血原なく、輸血などがなければ除外

4. もともと抗凝固薬を内服している方、ヘパリン化して手術施行した。手術翌日、ヘパリンを再開したらドレーンが血性になったので、ヘパリンを中止した。その後、正常に戻った。
→明らかな出血原なく、輸血などがなければ除外

Q2. 出血例のみの登録で良いのでしょうか

A2. アンケート2 (CRF 記入) は出血例のみで構いません、アンケート1は対象期間 (2009-2018年) のPD症例数を御記載下さい

Q3. 各施設のIRB審査はと考えてよろしいのでしょうか？

A3. 各施設での申請もお願い致します

Q4. 4 課題名の英語表題をお教えいただけますでしょうか。

A4. <Surveillance of post-pancreaticoduodenectomy hemorrhage in Japan>になります